

産総研-大学連携タスクフォースセミナー

宇宙創成の謎にせまる 国際リニアコライダー (ILC) 計画

ILC 計画の全体像と科学的意義

駒宮幸男(早稲田大学)

ILC 加速器と超伝導の物性と技術

佐伯学行(KEK)

電子ビーム計測技術

浦川順治(KEK)

加速器研究に貢献する放射線計測技術

豊川弘之(産総研)

2019年11月6日 (水) 13:30~16:30

産総研 つくば第2事業所8階会議室

入場無料・参加登録無用：

ただし産総研以外の方は、産総研中央第2事業所ロビー受付で
入館手続きをお願いします。



宇宙の探索には古くから「宇宙を観る」方法が用いられてきましたが、20世紀に入り「宇宙に行く」ことや、加速器を使って「宇宙初期を再現する」ことが可能となりました。国際リニアコライダー (ILC)は電子と陽電子を高エネルギーでぶつけることによって宇宙初期の現象を実験室で再現し、宇宙の始まりに迫る加速器計画です。このセミナーでは、ILCの物理と計画の展望、ILCの技術とその応用や産総研における関連研究についてお話しします。

主催： ILC大学連携タスクフォース

共催： 産業技術総合研究所・分析計測標準部門

産総研 量子ビーム計測クラブ

早稲田大学

高エネルギー加速器研究機構・ILC推進準備室

問い合わせ： KEKILC推進準備室

ILCsymposium_Tsukuba@ml.post.kek.jp